

野生猿(サル)の目撃情報が 寄せられています！！

サルの行動についてよく理解し、それに合った被害防止の実施にご協力いただきますようお願いいたします。

サルの生態・行動

1 食べ物

- ・植物中心の雑食性で、植物の芽や葉、種子や果実、昆虫類などの小動物を食べる。
- ・食べ物は、季節によって変化する。
- ・辛いもの、極端に苦いものはあまり食べない。
- ・食性が人と似ていて、ほとんどの農作物を食べる。



2 行動

- 《群れ》 …通常、20頭前後のメスを中心とした群れで行動する。
- 《行動時間》 …日の出から日の入まで活動(昼行性)し、夜間に行動しない。
- 《行動域》 …数平方キロ～30平方キロ程度。(エサの分布や量で変化する)本来、森林性動物だが採食のために農地に出没することもある。
- 《視力》 …視力は、人と同じくらい良い。
- 《学習能力》 …記憶力(場所・出来事・人など)や学習能力が高い。試行錯誤しながら学習し、その結果人馴れが生じたり、集落・農地をエサ場と認識した場合には、被害が大きくなりやすい。
- 《運動能力》 …数ミリの凹みや突起があれば、壁などを登ることができる。

なぜ、サルが里(集落)に出没するのか

1 里に引き寄せる食べ物がある

- ・ 山で少ないエサを探すより楽に採れる→里の味を覚えて再度出没する

2 里が安心して出没できる場所になっている

- ・ 過疎化・高齢化が進行、狩猟者が減少・高齢化→追い払いの危険が減少

3 集落・農地の周りに隠れ場となる山林が接近

- ・ 里山の放置、耕作放棄地の増加→いつでも里に出没しやすい環境

被害防止の方法

1 追い払う・追い上げる

- ・ロケット花火、モデルガンなどを使って人が積極的に「追い払い」を行う。
また、集落等からできるだけ離れた山の方に「追い上げ」を行う。
 - ★単なる脅しと学習されないように音と痛みがセットになった方法がよい。
 - ★爆音器など設置型の追い払い用具には、すぐ馴れる。
 - ★ロケット花火等による事故防止
- ・サルを見たらいつでも追い払い、徹底したサルへの嫌がらせにより、人里が危険な場所・居心地が悪い場所と認識させる。
- ・サルが隠れる場所をなくし、樹木からの飛び移りなどを防ぐため、農地・集落に沿って樹林地を整理するなど見通しのよい周辺環境をつくり、サルの警戒心を高める。
- ・効果的な追い払い・追い上げの方法
 - ①出来るだけ早期に行う。
 - ②出来るだけ多人数で行う。(地域ぐるみで行うと最も効果的)
 - ③長い距離を追いかけて、集落からサルを離す。

2 誘引物を除去する(餌付けになる行為をやめる)

- ・エサになるもの(クズ果樹、クズ野菜、生ゴミなど)の農地での放置や山などへの廃棄は止め、埋設等により適切に処分する。
- ・取り残した果樹や野菜は、早期に除去する。放棄された果樹園では木を伐採するか、果実を早期にもぎ取る。
- ・ゴミ集積場の生ゴミが食べられないように管理を十分に行う。
- ・軒先など野外に農作物などの食べ物を置かない。神社等のお供え物(花を含む)なども同様に注意する。

3 家屋等に侵入させない

- ・サルを目撃情報があったら、しっかり戸締まりをし、子供等を外に出さない。

情報を提供してください

- 1 **サルにより被害(人的被害、農作物被害など)が発生した場合は、すぐに町役場農林課へ連絡してください。**
- 2 提供していただきたい情報は、「**ねぐら情報**」「**被害場所**」「**時間**」「**大きさ**」「**頭数**」「**どんな被害が出たか**」などです。

【お問い合わせ先】

大鰐町農林課 電話 0172-55-6574 (直通)

